

中学生の部 決勝戦

●中学生の部 決勝戦 13：50～



《先攻チーム》青森山田中学校 A チーム
《後攻チーム》ふたば未来学園中学校

ステージ①／先攻チームによる政策提案 《先攻／青森山田中学校 A チーム》（4 分間）

青森山田中学校 A チームさん

先攻チームとして政策提案を行います。よろしくお願いします。では、政策を求めるという問いを受けて取り上げる社会問題の現状分析と問題を解決する政策を支える理想的な社会像を述べます。

私たちが二酸化炭素の排出を削減するために注目したのは早く安く流行のスタイルを提供しているファストファッションを見直すことです。カッコいい洋服を安く手軽に買えることは確かに便利です。

しかし、排出される二酸化炭素は全体の 10 パーセントを占めます。しかもその 80 パーセントはゴミとして焼却埋め立てされます。よって衣服を買うときに国民全体が少しでも省エネを意識すること、エシカルファッションを考えて服を買う社会を理想とします。

第二に具体的に政策を主張します。その政策を名付けて言うならば「ウィズコロナで選ぶホントにカッコいいエシカルファッション政策」です。繰り返しますが政策は「ウィズコロナで選ぶホントにカッコいいエシカルファッション政策」です。では、その内容と理由を具体的に説明します。

一つ目は現在流行に向けて洋服を大量に生産する服を購入する方式からネットを使ったセミオーダーのファッションを行う企業への助成を行います。ウィズコロナでの新しい生活様式では手に取って洋服を選んだり、店員さんや友人、家族と洋服を選ぶのは密になるためネットでの買い物が増えます。

そこで、服を販売する店や企業はネットにセミオーダーの服をアップします。買う人は洋服の形、デザインからサイズ、服を選んで注文します。組み合わせによって自分だけのアイテムを選べます。企業側も生産コストを減らしデザインや色などを豊富にすることで買う側も満足できるような物をセミオーダーエシカルファッションの商品として認定します。この商品を販売する企業や店の法人税などの税金を安くします。これにより注文を受けてから作るため無駄な生産、在庫管理、廃棄を大幅に減らすことができます。

二つ目はセミオーダーエシカルファッションの販売専門アプリを開発する企業を支援します。買う側はこの商品専門アプリを利用して自分のスマホで撮影した画像で組み合わせで試着し、ウェブ上で発注し、受け取る

希望日に時間帯を指定します。ウェブはラインなどの SNS を通じて家族や友達とつなぎ、ウェブ会議のようにわいわいしながら選んだり、企業や店の人とオンラインでアドバイスをもらえるシステムのアプリを使うものとして開発します。ウィズコロナでの買い物を使つての省エネになり、受け取る時間を指定することで宅配便の無駄な訪問を防ぎ、買い物に自家用車を使わないため、省エネに貢献できます。この商品専門アプリを開発運営する企業の税金を安くし、アプリを利用して購入する人には GoTo ウエアとして 20 パーセント分助成をします。

同時に三つ目の政策として大量生産して安く販売している洋服を購入する場合は環境税を 5 パーセント増税し、この税金は木を植える基金として使います。これらの一連の取り組みによって割高なセミオーダーと安いファストファッションとの価格の差を縮めることによってエシカルファッションが普及しやすいようにするのが狙いです。

第四にこの政策を実行することで生まれる効果について述べます。セミオーダーエシカルファッションにすることに 4 割の人が興味を持ち、その半分の 2 割の人が洋服の買い方を変えることで無駄な二酸化炭素の排出を 20 パーセント削減することになります。企業に取っても在庫や廃棄が減りコストダウンにつながり、オンラインを使った買い物はウィズコロナの新しい生活様式で省エネを考えるきっかけになると考えます。以上、問題の現状分析、基本的な立場の政策の具体と効果について述べました。

後攻チームのための準備時間（2 分間）

ステージ②／先攻チームの提案する政策についての質疑と意見交換（5 分間）

ふたば未来学園中学校さん

お願いします。まず政策のところに質問していくんですけど、要するに政策の 1 で言っていたのは洋服の受注生産ということですか。

青森山田中学校 A チームさん

合ってます。

ふたば未来学園中学校さん

受注生産ってなるとやっぱり、そして自分でデザインを選んで発注するってなるとそれを作る側っていうのは大量生産っていうよりは手間がすごい掛かってしまうと思うんですが、そしてその分洋服はお客さんのもとに届く時間っていうのがすごく長くなってしまうと思うんですが、そこはどう考えていますか。

青森山田中学校 A チームさん

それについてお答えします。まず、製作する時間を抑えるためにフルオーダーではなくセミオーダーという形の方法を採りました。セミオーダーにすることによって、もちろんネットで注文している以上客に届くまでの時間は少し掛かってしましますが、セミオーダーにすることによって製作の手間を少し省いた感じになります。

す。

ふたば未来学園中学校さん

はい、ありがとうございます。すいません、セミオーダーっていうのがどういったものなのか教えてもらっていいですか。

青森山田中学校 A チームさん

はい、セミオーダーというのはフルオーダーと違って、フルオーダーは全てを一からオーダーすることになります。セミオーダーというのはもともとあったスタイルの物に柄を付け足したり、もしくはデザインを少し変えたりして行うオーダーになります。

ふたば未来学園中学校さん

ありがとうございます。次に洋服が今すぐほしいっていうふうになってしまったとき、例えば急に明日用事ができてしまって、そのためにはこういった服が必要っていうときに受注生産っていう形を取ってしまうと間に合わないと思うんですが、そこについては何か考えていますか。

青森山田中学校 A チームさん

そのことに関してはファストファッションを残してそこからセミオーダーを使ったファッションに移すっていう形なので、ファストファッションは残っているはずなので、すぐほしいという方がたにはそのファストファッションを利用いただき、店舗に行って買ってもらえればいいと考えております。

ふたば未来学園中学校さん

はい、ありがとうございます。この政策上の洋服っていうのは全て配達で届ける、受注生産を売っている服に課税するという部分以外では全て配達という形でお客さんのもとに届けるっていうことですか。

青森山田中学校 A チームさん

セミオーダーを行った服に関しては全て配達という形になります。

ふたば未来学園中学校さん

ありがとうございます。そこで少し提案したいんですけど、配達っていう形になってしまうと先ほど時間指定ということがありましたが、いつ家にいるかっていうのが分からない状況っていうのもあると思うので、例えば近くの支店に何日後には洋服を届けます、そしたらそのお店に予約して自分の好きな時間で、例えば何時間後に取りに行きますとか、そういうふうに電話をして取るというふうにすればいいんじゃないかなと思ったんですけど、どうでしょう。

青森山田中学校 A チームさん

はい、その政策につきましては時間の指定もできるようにしてありますが、もし本当に都合が合わなかった場合、そういうことも応用して取り入れたいと思うので参考にさせていただきます。ありがとうございます。

ふたば未来学園中学校さん

ありがとうございます。ハロウィーンとかのイベントデーで注文が殺到したときの対応ってどうされるんですか。

青森山田中学校 A チームさん

それにつきましては、お客さんが買いに来る頻度が違うわけですし、専門の方がいますから、注文が殺到した場合につきましては時間が少しオーバーしてしまうかもしれません。それにつきましては深く考えてはいませんでしたので再提案のときにもう一度述べさせていただきたいと思います。

ふたば未来学園中学校さん

はい、ありがとうございます。次に政策提案上で大量生産で環境税を付けるっておっしゃってたんですけど、それはなぜ残すのでしょうか。

青森山田中学校 A チームさん

はい、ファストファッションを残す意味としてはファストファッションから今無理にセミオーダーを全て活用するという事は不可能なことなのでファストファッションを徐々に減らしていくという形の施策がわれわれが先ほど述べたものになります。大切なのはファストファッションが減っていくことで、大量生産を防ぐということになります。

ふたば未来学園中学校さん

はい、ありがとうございます。服とかって流行とかでモデルさんとか影響力が高い人と同じ物がほしいって人がいると思うんですけど、それについてはどうお考えですか。

青森山田中学校 A チームさん

それにつきましてはモデルさん、もしくはその影響力の高い方。＜タイマーの音＝制限時間終了＞

ふたば未来学園中学校さん

ありがとうございました。

ステージ③／後攻チームによる政策提案 《中学／ふたば未来学園中学校》（4 分間）

ふたば未来学園中学校さん

お願いします。これから後攻チームとしての政策提案を行います。第一に現状分析を三つ述べます。

1、容器包装プラスチック略して容プラのごみ増加、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、店で買って帰る

人はもちろん、テークアウトやデリバリーなどを利用する人が増え、容プラごみが増えています。例えば昨年の調査によると大阪市では前年と比べ3月では6.8パーセント、4月では8.4パーセント、5月では7パーセント増えました。これらは他市でも同じです。

2、無駄な石油消費。容プラを生産するために年間約70万トンの石油を使います。容プラの多くは使い捨てのため、たった一度のために70万トンもの量の石油を消費していることになります。

3、放置される山林。一方日本には1,020万ヘクタールの人工林、16万ヘクタールの竹林があるのにも関わらずその多くが放置されてしまっています。放置され本来使われるべき資源を無駄にしています。せっかく繰り返し使える資源があふれているというのにもったいないと思いませんか。

第二に私たちが理想とする社会像について説明します。最近コロナで傷ついた経済を環境に優しい形で回復させるグリーンリカバリーが注目されています。同じ発想でコロナで増えた、無駄な石油の消費を減らし、代わりに現在使われていない隠れた資源を有効に使うことで経済も省エネもコロナ前より進んだ社会を目指します。

第三に具体的な政策を五つ提案します。

1、現在使い捨てにされている食品用の容プラを木や竹で作る容器に変えます。これは現状分析3で述べた放置されている森林や竹林を利用するものとします。

2、容器にはマイクロチップを埋め込み、データを読み込めるようにします。

3、使用した容器を各店に返却し、繰り返し使えるようにします。直接店で購入した場合はその店に、デリバリーの場合は次回デリバリーを使用する際にきれいに洗ってから返却するようにします。なお、店での返却は現在のペットボトル回収機のようにします。返却された容器は衛生面を考慮し、再度使用する前に洗浄、殺菌します。

4、容器の返却を促すため返却した店だけで使えるポイントを押せます。客は店がテークアウト先に容器を返却すればポイントがたまりますから、容器を返却します。また、店側も木や竹の容器にすれば客がポイントのため繰り返し店を使うという、大きなメリットが生まれますから積極的に導入するでしょう。容器一つあたりのポイントなど詳しい方法は国と経済の段階で協議して決めます。また、このポイントはポイントカードと専用アプリどちらからでも使用可能にします。

5、この1から4の導入には国が補助します。

第四に効果です。効果は二つです。

1、資源の有効利用、A、B二つに分けます。A、石油。容プラが木や竹になることでこれまでの生産、処分に掛かっていた石油の消費がなくなり、石油の省エネになります。ポイント制で継続的に広い範囲で効果が得られますから、かなりの効果が見込めます。

B、木や竹。放置されていた木や竹という貴重な資源が有効利用できます。人工林は手入れすることで持続可能な資源になります。結果、私たちの理想の社会像に近づきます。さらに木材需要が増えれば林業の後継者不足が改善し、林業の再生にもつながるでしょう。

2、飲食店への経済的なメリット。客が容器を返却するため繰り返し店に訪れ、その店のリピーターとなることで容器を導入した店側に利益が生まれます。さらにテークアウトやデリバリーで容器を使うたびポイントを押せることで人々の利用が増え、コロナで落ち込んでしまった飲食店の売り上げにもプラスです。以上のように

に、このプランは資源を無駄にせず、経済も回復できる一石二鳥の政策なのです。この政策について意見交換
よろしくお願いします。以上で終わります。ありがとうございました。

先攻チームのための準備時間（2分間）

ステージ④／後攻チームの提案する政策についての質疑と意見交換（5分間）

青森山田中学校 A チームさん

お願いします。

ふたば未来学園中学校さん

お願いします。

青森山田中学校 A チームさん

まず、プラスチックの容器を使わずに木もしくは竹などのものに替えて行うと言っていましたが、それは二
酸化炭素を酸素に変える役割を果たす植物の減量につながるのではないのでしょうか。

ふたば未来学園中学校さん

はい、まず実際に今放置されてしまっている山林から材料を取ります。その後にしっかりと植林をして、林
業が回っていくようにします。結果的に放置されてしまっていた場所がしっかりと管理されている山林に変わ
っていきます。なので、そこで二酸化炭素の吸収量が減るってことはありません。もう一度育てるので。

青森山田中学校 A チームさん

はい、ありがとうございます。では、その植林とは一体誰がどのように具体的に行っていく予定でしょう
か。

ふたば未来学園中学校さん

はい、ありがとうございます。再提案でもう一度提示させていただきます。

青森山田中学校 A チームさん

はい、続きまして、プラスチックなどの容器ではなく、ウーバーイーツなどのように宅配で頼むものを洗っ
て返却するという意見につきまして、このような意見についてももう少し詳しく説明をお願いしますか。

ふたば未来学園中学校さん

はい、それは具体的な政策の、3点目のところですね。実際にデリバリーで配達してもらいます。配達して、
消費者が使って、次デリバリーで頼んで配達してもらったときに洗ったものを返して届けてもらいます。

青森山田中学校 A チームさん

ありがとうございます。コロナ対策のために使う、殺菌をするための消毒液とかはどういうところから徴収するつもりですか。

ふたば未来学園中学校さん

これは政策の5点目で述べた通り国が補助をします。

青森山田中学校 A チームさん

プラスチックの容器を木や竹に変えるという意見が、少し話は戻りますが、あったと思います。それにつきまして、木はプラスチックを燃やすよりも二酸化炭素の排出量が増えてしまいます。それにつきましてはどう思いますか。

ふたば未来学園中学校さん

そうですね、単純に燃やすっていうだけでは木材とかにすると増えてしまうかもしれないんですけど、実際プラスチックなどは使い捨てにされていて、一度使えば使うほど二酸化炭素などを放出してしまいます。しかし、今回私たちが言っている容器は何度も使うことを想定しているので、結果的に見て長続きするのでCO₂などの排出量は減ると考えています。

青森山田中学校 A チームさん

ありがとうございます。では、それにつきまして提案を少しさせていただきたいと思います。プラスチックを木に替えるのではなくて、プラスチックの使用量、もしくはプラスチックの生産量を減らすべきだと自分たちは思います。今の時代、現在の技術では寒天からプラスチックを作る、もしくはトウモロコシからプラスチックを作る、もしくはプラスチックがゴミにならず、そのまま元の形に戻るといったものもございます。そうすれば、木を使って物が増えていく、もしくは、増えてどのみち使わなくなってしまうっていうことがなくなると思うんですが、どう思いますか。

ふたば未来学園中学校さん

貴重なご意見ありがとうございます。再提案でまた述べさせていただきます。

青森山田中学校 A チームさん

はい、ありがとうございます。では、続きまして木を減らす、もしくは植林をするときに国から助成をするとききおっしゃってたと思うんですが、合っていますか。

ふたば未来学園中学校さん

はい。

青森山田中学校 A チームさん

その助成について詳しく説明をお願いできますか。

ふたば未来学園中学校さん

今、やっぱり日本ってコロナ禍だから、コロナの対策とかに使ってる費用とかがあると思うんですけども、そういったものを充てていくって形、そのような感じで省エネに対しても実際にお金を出していくということです。

青森山田中学校 A チームさん

それはコロナ対策に出すお金を減らして木に出すお金を出すということですか。

ふたば未来学園中学校さん

伝え方が悪かったと思うんですけど、それとは別の考え方でそのような感じで国を良くしていくためのお金として出します。

青森山田中学校 A チームさん

ありがとうございます。そのお金は国民から徴収したりとか、何かそういうものを考えてたりしますか。

ふたば未来学園中学校さん

再提案で話します。

青森山田中学校 A チームさん

ありがとうございました。

ふたば未来学園中学校さん

ありがとうございました。

準備時間（5 分間）

ステージ⑤／後攻チームによる論点明示と政策の再提案（4 分間）

ふたば未来学園中学校さん

はい、お願いします。まず、私たちの政策提案の内容とその部分に対して先攻さんからいただいたご意見とかを振り返っていきたいと思います。

まず、先攻さんの質疑の内容から主に振り返るんですけど、そもそも管理するのは誰なのか、植林とかを

新たに行うとき誰がやるのかみたいな話があったんですけど、それは効果のところなどでも出てきてるんですけど、林業の再生にもつながる、後継者不足が深刻である、それはつまり林業の人っていうのが新たな職種として出てくる人材になるので、林業を続ける人たちが管理していくものになるんだっていうことを確認してください。

また、バイオプラスチック、いわゆるトウモロコシなどを使って作る物や、繰り返し使えるプラスチックなどを取り入れてみたらどうかっていう提案がありました。ありがとうございます。その部分なんですけれど、これだと補う部分としてなのか、使い方にちょっと疑問はあったんですけど、トウモロコシとか、新たにこのために植える必要があるかもしれないじゃないですか。でも、私たちが考えてるのは今ある隠れた資源を有効に使うということです。放置されている山林は今ある資源ですよ。その部分のものを使うことで無駄がなくなる。そういう話がしたいです。新たに植林っていうところで疑問が生まれていると思うんですけども、新たに植えるっていうのも、この放置された山林を再生させていくっていう形なんですね。その部分を確認してもらいたいと思います。

また、同じように意見とかでもらったものを振り返っていくんですけど、木とかの取り入れではなく、プラを減らすっていうことにしたらみたいな、少し捉え方が違ったかもしれないですけど、内容をいただきました。私たちがやろうとしていることから確認していくんですけど、私たちは使い捨てである容器プラスチックというものを減らしていく。そのために木とか竹の容器で繰り返し仕組みを作りたいって話です。

そうすると結局プラスチック、特に容プラというものが減っていきますよね。それなのでプラスチックを減らしてみたらどうかという質問に対しては私たちの考えでうまくいくことができます。

また、国民から費用を集める必要があるかという論点に対してなんですけれど、これについては集めません。国から出すということにはなっています。売り上げとかにも飲食店のためにもつながる部分がありますし、最終的にはこの仕組みが長く続くものとなります。また、省エネの効果の他にも経済的な効果が飲食店の話のようにあるということです。

ここから比較に入ります。ではまず先攻の皆さんの話を振り返っていきます。先攻の皆さんの政策提案はCO₂の削減などを目指してファストファッションを受注生産っぽくしていこうっていうお話でした。その上で工夫としてフルにオーダーするんじゃなくてセミオーダーにすることでちょっと効率的なより良い形にしようとか、そういういろんな工夫がされていたと思います。そこで省エネもしながらコロナ対策もできるようになってというような絡め方だったと思います。

後攻チームの政策提案を振り返るんですけども、私たちは今資源を無駄にしているんだ、一方で放置されてしまってもったいない資源があるんだっていうことをお話しました。それを政策によって隠された資源を有効に活用して無駄をなくして、さらには経済にとってもいいことがあるっていうお話をしました。

比較すると私たちはメリットが一つではなく複数ある、一石二鳥の政策です。さらに。

<タイマーの音＝制限時間終了>ありがとうございました。

ステージ⑥／先攻チームによる論点明示と政策の再提案（4分間）

青森山田中学校 A チームさん

はい、先攻チームとして相手チームとの質疑、意見交換を生かして重要な論点の明示と政策の再提案を行い

ます。先ほどの政策提案についての質疑と意見について振り返ります。一つ目、手間がかかってしまい、お客さんに届くまで時間がかかるのではないかと。二つ目、今すぐほしいという人には。三つ目、なぜファストファッションを残すのか。四つ目、モデルさんなどの着ている服を着たいという場合。五つ目、イベントなどで注文が殺到した場合どうすべきか。六つ目、時間指定だといつ家に着くか分からないから店に取りに行ってはどうかというものでした。一つ目からひとつひとつ答えていきたいと思います。

1、手間がかかってしまい、お客さんに届くまで時間が掛かるのではないかという意見がありました。これにつきましてはフルオーダーではなくセミオーダーを行うというものになっているので、時間を少しでも減らしてお客さんに届くという政策を提案しています。あくまでもファストファッションをなくしていこうという意見になっているので、これは少し仕方ないことなのかなと思います。

二つ目、今すぐほしいという人には。これにつきましては店舗がそれぞれ展開されていますので、そのファストファッションをしている店舗に買いに行ってもらう形になります。ファストファッションを減らしていくというのが目的ですので、店に買いに行ってもらうしかないと思います。

三つ目、なぜファストファッションを残すのか。これにつきましては少しでもファストファッションの意識を減らしてセミオーダーという意識に変えていくのが大切だからだと思います。ファストファッションを残さずにセミオーダーに完全に変えてしまう、これは現時点の段階では不可能ということになりますので、少しずつ皆さんの意識が変わっていくことが大切だと思います。

四つ目、モデルさんなどが着ている服を着たいという場合。これにつきましてはエシカルファッションを推進しているモデルの方もいます。エシカルファッションというのはエコに優しいファッションということで、エシカルファッションを推進してるモデルさんを政府から薦めていただき、モデルさんがエシカルファッションに興味を持てただけによって少しでも変わっていくのかなと思います。

五つ目、イベントなどで注文が殺到した場合にどうすべきか。これにつきましてはそういう時期、おおよそハロウィーンなど、そういうことで予想がつかますのでふたば未来さんの意見を参考にさせていただき、その時期アルバイトを多く雇う、もしくはスタッフを増やすことによって、生産もしくは対応を追いつかせるという形になります。ウィズコロナ、コロナと共に生きていく、今、コロナで職を失っている方も多くいるわけですから、そういう方にも協力になるかなと思います。

六つ目、時間指定してるといつ家に着くか分からない。これにつきましては店に取りに行けばいいのでは、店に着くようにして取りに行く形にすればいいのではという意見がありました。これは参考にさせていただき、これを実行したいと思います。それにプラスして店でパソコンを扱うようにし、スマホを持っていない方、もしくはスマホが壊れている方でもパソコンを利用してお店でセミオーダーができるという方式もプラスしたいと思います。そうすることによって個人での対応になりますから、コロナ対策は完全にできるわけですから、これは良い意見になるかなと思います。

大手ユニクロなどの物を買う人が20パーセントセミオーダーにするだけで日本の排出量全体の2パーセントもの量を減らすことができるので、この数字を示して再提案させていただきます。ありがとうございました。